

地震・風水害等に備えて



今年3月11日に発生した「東日本大震災」では、当町でも震度6弱を観測し、町内各地で建物や塀の損壊、土砂崩れ、道路の破損や水道管の破裂など、大きな被害をもたらしました。

また、地球温暖化が叫ばれている近年、台風やゲリラ的な集中豪雨、それに伴う水害

や土砂崩れなどの災害も多発し、特に夏から秋にかけては風水害等の自然災害の脅威にさらされています。

「災害は忘れたころにやってくる」とよく言われます。災害をなくすことはできませんが、被害を少しでも減らす取り組みは今すぐにでもできます。普段から日ごろの防災

に対する備えを万全にし、いざというときにあわてないよう心掛けましょう。

危険個所の確認を

町民の皆さんは、一昨年に配布した「那珂川町防災マップ」をご存じでしょうか。この防災マップを見れば、自分の住んでいる地区にどのような危険個所があるのか、ひと目でわかります。これを参考に、万が一災害が発生した場合の対応について、ご家族で話し合ってください。防災マップは町のホームページでもご覧になることができます。（トップページ↓安全・安心なまちづくり情報↓防災↓防災マップ）

な危険個所があるのか、ひと目でわかります。これを参考に、万が一災害が発生した場合の対応について、ご家族で話し合ってください。防災マップは町のホームページでもご覧になることができます。（トップページ↓安全・安心なまちづくり情報↓防災↓防災マップ）



避難情報が発令されたら 住民のみなさんが取るべき行動

避難準備情報 避難の準備を始めましょう

- ① テレビやラジオなどからの天気予報、災害情報に十分注意してください。
- ② 指定された避難施設を確認してください。
- ③ 避難施設に持参する災害時避難持出品の確認など避難の準備を始めましょう。
- ④ 避難に時間がかかると思われる方（お年寄りや体の不自由な方、子どもなど）は、避難を開始してください。



避難勧告 避難所へ避難を始めましょう

- ① 落ち着いて避難を開始してください。
- ② ご近所に避難が困難な方がいたら、必要に応じて避難の手助けをしてください。



避難指示 避難所へ直ちに避難しましょう

**非常に危険な状態です。
直ちに避難してください!**



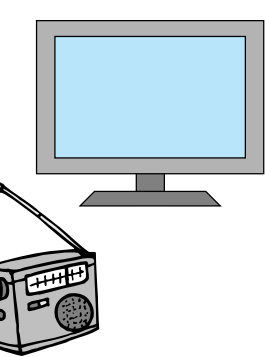
災害時避難持出品の準備

避難のときに持ち出す荷物は必要最小限にし、置き場所を決めて持ち出し袋にまとめておきましょう。また、内容を定期的に確認し、使用期限・賞味期限等の切れたものを更新しておきましょう。（下記の災害時避難持出品リストを参考にしてください）

自主的な避難準備

雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ、テレビ

などの最新の気象情報、災害情報に注意しましょう。また、そのときにいる場所の周辺で危険を感じたら、自主的に避難準備を始めましょう。



避難の呼びかけに注意を

那珂川町では、皆さんの避難が必要と判断したときは、

音声告知放送、防災行政無線、サイレン、広報車、ケーブルテレビ等、あらゆる手段で避難の呼びかけを行います。

災害時避難持出品リスト

皆さんご家庭では、災害に対する備えは十分ですか？ 日ごろからの備えが、いざというときあなたの命を救います。事前の準備と定期的な点検、この機会にぜひ心掛けてください。また、緊急時の連絡方法と連絡先、非常持出品の置き場所などについて、普段から家族で話し合い、災害に備えましょう。

①非常持出品 (1次持出品)	②非常備蓄品 (2次持出品)
<p>避難するとき、最初に持ち出すべき、必要最小限の物品で、被災時、非常時の最初の1日をしのぐための物品です。ほかのものは避難後、安全を確認してから取り戻すことも可能です。持ち出しやすいよう袋に入れて、防災のために必ず準備してみてください。</p> <p>貴重品</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現金 ● 預貯金通帳 ●認め印 ● 免許証 ●権利証書 ●健康保険証 など <p>非常食品</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調理せず食べられる食品 (乾パン・缶詰・栄養補助食品・ドライフーズなど) ●飲料水 (缶またはペットボトルなど) ※乳幼児・病人用缶詰 (離乳食・レトルト粥など) <p>携帯ラジオ・懐中電灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予備電池は多めに用意 ●懐中電灯は、できれば1人に1つ <p>応急医薬品</p> <ul style="list-style-type: none"> ●絆創膏 ● 傷薬 ● 包帯 ● 胃腸薬 ●鎮痛薬 ● 解熱剤 ● 消毒薬 など ※持病のある人は常備薬 <p>その他の生活用品</p> <ul style="list-style-type: none"> ●肌着類 ● 手巾 ● タオル ●ティッシュペーパー ● ビニール袋 ●生理用品 ● 紙おむつ など 	<p>避難した後で少し余裕がでてから安全を確認して自宅へ戻り、避難所に持ち出したり、または自宅避難生活を送る上で必要なものです。災害復旧までの数日間(最低3日間)を自足できるよう準備しておきましょう。</p> <p>飲料水</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1人1日3リットルを目安に準備。缶入りやペットボトルのミネラルウォーターを。 <p>非常食品</p> <ul style="list-style-type: none"> ●乾パン ● 缶詰 ● レトルト食品 ●栄養補助食品 ● アルファ米 ●ドライフーズ ● インスタント食品 ●梅干し ● 菓子類 (チョコレート・飴など) ● 調味料 など <p>燃料</p> <ul style="list-style-type: none"> ●卓上コンロ ●携帯コンロ ●固形燃料 など <p>その他の生活用品</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活用水 ● 毛布 ● 寝袋 ● 洗面用具 ●ポリタンク ● 鍋 ● やかん ● バケツ ●トイレットペーパー ● 使い捨てカイロ ●ろうそく ● さらし ● ロープ ●工具 (パール・スコップなど) ●ドライシャンプー ● 新聞紙 (燃料・防寒用) ●ビニールシート (敷物・雨よけ) ●布製ガムテープ (荷物の整理・止血・ガラスの補修) ●キッチン用ラップ (止血・汚れた皿にふせて使用) ●ペットフード ● 自転車 など

避難するときには

ガスの元栓を閉め、タバコなどの火の始末をし、戸締まりを確認しましょう。貴重品や災害時避難持出品を忘れずに。また、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

お年寄りや障がい者などの避難に協力しましょう

避難するときには、隣近所に声をかけ複数で避難しましょう。

う。また、お年寄りや体の不自由な方、子どもなどの避難に協力しましょう。



靴は運動靴、頭には帽子・ヘルメットなどを

冠水した道路はマンホールのふたが外れていたり、足元が見えないため、非常に危険



です。歩きやすい運動靴などを履き、手をつないで、先頭の方は長い棒などで確認しながら進みましょう。頭は、帽子・ヘルメット・防災頭巾などで保護しましょう。